

質問

安心安全な介護を目指すために、介護保険法の特別給付に対する本市の取り組みや考えについて。高齢者が増加し、それを支えていくための人材確保が困難になっているが、国の施策以外に本市として何か対策はあるのか。

答弁

市町村特別給付についてですが、介護保険法に規定されていないサービスは市町村独自で定め、保険給付を行うもので、この費用は65歳以上の方の介護保険料を財源とするため、本市では、今後も介護を必要とする方の増加や給付費の伸びが見込まれており、介護保険料にも影響があることから、特別給付の実施は困難と考えています。安心安全な介護に向けた支援策については、他市の事例も参考にしながら、調査・研究していきたい。人材確保の対策については、介護従事者のスキルアップ研修や従事者定着のための管理者研修に取り組みほか、新たな担い手を確保するため生活支援型訪問サービスの従事者養成研修を実施し、介護人材の確保に努めています。賃金に対する援助については、介護従事者の賃金改善に充てることを目的に国が処遇改善加算を実施していますので、本市としては、独自の介護報酬への加算や賃金への援助は考えていませんが、介護従事者の確保に向けて適切な介護報酬の設定が行われるよう、引き続き、全国市長会を通じて国へ要望していきたいと考えています。

質問

避難所として活用されている41公民館の耐震状況及び今後の整備の対応について。避難所の防災備品・備蓄食料の整備状況及び今後の整備の対応や対策について。本市災害対策本部と地域の自主防災組織及び避難所との連携について、どのように対応していくのか。学校を避難所として開設するに当たり、学校施設管理者の対応に温度差があるのではないかと。

答弁

耐震化が必要な8館のうち7館で工事が完了し、公民館全体の耐震化率は97.6%となっています。耐震化が必要な残り1館の対応については、改築を予定しており、地元との協議が整った次第工事を進めていきます。避難所となる公民館や学校のうち178箇所は、簡易トイレ、発電機、リヤカーなどの配備をしている。40箇所の公民館にはこれらに加えて、食糧、飲料水、毛布なども保管しています。平成32年度末までに県立、国立学校も含めた191箇所への配備を完了させるよう検討してまいります。開設を決定した段階で施設管理者への連絡と同時に消防局を通じて、自主防災組織にもお知らせし協力をお願いしています。市民の安全な避難や円滑な避難所運営になるよう、引き続き、校長会や教頭会などの機会を捉えて協力をお願いし、対応の違い等をなくしていきたいと考えています。

質問

児童クラブの健全運営のため、運営委員は詳細まで理解しているのか。また、形だけの運営委員会になっていないか。

答弁

児童の通う小学校長や、地域の民生児童委員や公民館、町内会、PTAなどの役員にご就任いただいております。利用者としての意見や現場の意見も反映できるよう児童の保護者や支援員も加わっています。支援員と学級担任等が児童の状況を共有し学校との信頼関係の構築に努めています。

質問

少子化が進む中、若者の市外への流出に対して、若者が本市に残るために、どのような対策を講じているのか。

答弁

本市では総合戦略に「松山に住もう、帰ろう若者プロジェクト」など3つの重点プロジェクトを位置づけ、様々に取り組んでいます。今年度からは、新たに、地元の高校生や大学生、また、専門学校生がフィールドワークやワークショップを通して、松山らしさを発信するプロジェクトも実施しています。

質問

本市には空き家が何棟あるのか。これまでの取り組み及び今後の空き家対策について。

答弁

市内全域に8479棟の空き家があることが判明しています。周辺に悪影響を与えるおそれがある空き家の所有者に対し、空家法に基づく対応に加え、今年3月には、空家等対策計画を策定したほか、取り壊しを促進することを目的に費用の一部を助成するための補正予算を今議会に計上しました。今後は総合的な空き家対策に取り組んでいきたいと考えています。

空き家対策について



松山市議会議員

河本ひでき

ひでき通信 平成30年冬号 (第2号)

差出人/河本ひでき事務所 〒791-1105 松山市北井門2丁目9番15号



師走を迎え、何かと慌ただしくなっていました。
先般の7月豪雨災害で被災されました皆様の1日も早い復旧、復興を心よりお祈り申し上げます。
松山市議会9月本会議にて初登壇させて頂き、一般質問を行いましたので、ご報告させていただきます。
今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。
寒い日が続きますが、どうぞお体にお気をつけてお過ごしください。



少子高齢化における地域共生社会のための、地区社協と地域団体の協働実施事業は

これからの少子高齢化社会において「我が事・丸ごと」を推進し、地域共生社会実現のためには、松山市社会福祉協議会、それ以上に地区社会福祉協議会との協働が必要である。とりわけ民生生活動等は自治会との協働活動が重要になるが、そのような協働実施事業について伺う。

問 本市には40の地区社会福祉協議会があるが、「福祉まつり」や「敬老会」等をまちづくり協議会と協働し開催したり、住民座談会の開催や災害時避難行動要支援者への支援体制づくり等の地域支え合い活動に地区民生児童委員協議会、自主防災組織、町内会等が協働して

答 本市には40の地区社会福祉協議会があるが、「福祉まつり」や「敬老会」等をまちづくり協議会と協働し開催したり、住民座談会の開催や災害時避難行動要支援者への支援体制づくり等の地域支え合い活動に地区民生児童委員協議会、自主防災組織、町内会等が協働して

松山外環状道路の高架下公園等を設置し活用を

松山外環状道路高架下の空間について、子どもの成長過程に必要なテニス、サッカー等が可能なスポーツ広場や遊び場、高齢者の健康増進に効果的な運動によるリハビリが可能でコミュニケーション活動に繋げていくための場所として公園等を整備する考えはないか伺う。

問 高架下の公園については、これまでも設置している事例もあつたことから、国や関係機関と協議し設置の検討をしたいと考えている。

その他の質問事項
介護人材確保の取り組み、災害時の避難所の状況と開設時の対応、児童クラブ運営委託、空き家対策、人口減少

河本 英樹 議員 (みらい松山)

市駅前にて街頭活動



松山市駅前にて、みらい松山メンバー全員で街頭活動をしました。

「笑顔広がる人とまち 幸せ実感都市 まつやま」

を目指して市政を推進していく思いを市民に訴えました。

通勤時間にも関わらず足を止めて頂き感謝です。ありがとうございました。

国家公安委員長兼防災担当大臣 山本 順三氏・
参議院議員 井原 巧氏へ 陳情・要望書を渡してきました



現在進行中の JR 松山駅周辺整備事業、松山外環状道路空港線の整備の実施、松山外環状道路インター東線が計画決定、松山市駅前広場整備計画発表、松山外港第1埠頭2号岸壁に本市としては初となる大型クルーズ客船が寄港します。地元振興及び活性化のために、港湾施設関連の整備やインバウンド、観光客への対策が急務であります。こうした大型プロジェクトは何より国の支援が不可欠なため、国に対する働きかけ、支援・協力をお願いしてきました。



石井小おやじの会
冒険王！
消火活動体験をさせて頂きました。

第13回松山市長旗杯
NPO法人LINK愛媛スポーツ交流会ゲートボール大会を開催しました。



地元のお祭り
こども神輿・ししまいに
参加しました。



地域の老人ホームにて、
夕涼み会に参加して来ました。
入居者の方と、楽しい時間を
過ごさせて頂きました。



町内 敬老会
& 第50回石井
地区体育祭



愛媛県民祭り
ええもんフェスティバル
にて！！



留学生と収穫体験交流会！！
愛媛新聞にも掲載されました。

編集後記 【聴く力】

被災地の復興を助けるものの一つに、ボランティアの力があります。テレビなどで目にする彼らの働きは、土砂の撤去、瓦礫の運搬や家屋の片づけなど、体を使うことが多いでしょう。

他方、傾聴ボランティアと呼ばれるものがあります。非常時のもとで被災者は、様々な精神的苦痛を被ります。当時の状況やその怖さなどを聞いてもらうことで、苦痛が緩和されることがあるのです。

自身の辛さを聞いてもらうことで、「わかってもらえた」「共感してもらえた」という心の拠り所でき、苦痛が和らぐ効果があるようです。

辛い体験をした人に限らず、人は他者から理解されることを欲しています。自分が他者から理解されたいと思うのであれば、他者もそうであるということに、思い至るでしょう。

他者への理解を深めることは、周囲との人間関係をより良くしてくれます。その第一歩は、相手の話に耳を傾けよう、という思いから始まるのです。

◆周囲の人の話に耳を
傾けましょう

●後援会●

〒791-1105
松山市北井門2丁目9番15号
TEL: 089-961-1178
FAX: 089-961-1106

Facebookも日々更新中

河本ひできホームページ開設中
<https://kawamoto-h.com>
市政への要望、お聞かせ下さい！！
お気軽にお問合せください。